

大森農道法面の防草対策^{のりめん}

グラウンドシートの固定には、どうしてもたくさんの人手が必要。簡単に固定する道具もありますが、強い風の力にはひとたまりもありません



大森農道の擁壁の改修で路肩にコンクリート加工をしてもらいました。この部分を利用して防草用のグラウンドシートを固定できるようにしました。4月3日、補修工事を実施しました。内容は固定用の金属プレートシートと一緒にアンカーボルトで止めるものです。今回新たにプレートを製作依頼して購入したので、合計90枚のプレートが使えるようになります。それをハンマドリルで、下穴をあけ、そこにアンカーボルトを打ち込む作業を続けます。

すでに固定されています。

るところは、より確実になるように、ボルトの数を増していきます。コンクリート構造物があるところは、このやり方で良いのですが、直接地面というところは、その場所その場所で状況が異なります。それらを考えながら、試行錯誤を繰り返していきます。すぐ側でも同じ方法が使えないことも珍しくありません。



水路一斉清掃にご参加ください

5月9日（日）午前8時より
ふれあい朝市広場に集合

例年の通り水路清掃を行います。この時期には始ごの自治会で、こうした水路清掃が行われます。梅雨の時期に備えて、水の流れを確保する必要があるからでしょうか、この時期に行われます。この作業は、八方原の環境を守る会の日当支払い対象事業で、およそ2時間程度の活動となります。多くの方の参加をお願いします。親子での参加も歓迎します。

長寿命化事業は10万円分縮減の見込み

令和3年度多面的機能支払い交付金事業の長寿命化事業についての予算内示がありました。例年内示額にいくらか上積み額がありました。今年度は前年より10万円以上少ない額となります。昨年来の新型コロナウイルス感染のために国の予算も、相当に厳しいものとなっています。予算の許す範囲での事業の展開となります。効果的な予算の執行に全力を傾けます。

上論 紙討 エアコンのない公民館

平成5年の八方原公民館の建設に際して、建設費の20%を小郡町が助成する制度がありました。空調設備を建設費に含めれば、助成の対象となるから、一緒にやっつてはどうかという案が審議されました。しかし、結局のところ建設総額が計画より増えるからという理由で、その案は見送られました。

「夏のしばらくの辛抱だから」と我慢をしていましたが、やはり扇風機では、快適とはいきませんでした。



扇風機が活躍する令和元年度の敬老昼食会

上郷地区にあったレストラン「バーミアン」が事情により閉店することになったので、椅子や机を使いませんかという提案がありました。その時に屋外用の椅子をいただいています。実はその時、設置してあった空調設備も譲りますという話もありました。早速、夏祭りなどで活動していた「八方原ソフトボール同好会」は区長に、空調設備の導入をしてもらうように、1万円の寄付金と一緒にお願いをしました。しかし、電力が十分でないということで見送りとなったのです。

それから、10年以上経過しました。夏の暑さは年ごとに増してくるような気がします。ソフトボール大会で優勝しての慰労会も、汗をタオルで拭いながら当たり前でした。

老人会からは再三、空調設備の整備のお願いが自治会には寄せられています。今年の3月書面決議となった総会でも、空調設備への強い要望がありました。

夏の冷房も問題ですが、冬の暖房も大事です。今は大型石油ストーブを使っています。このストーブも既に1台は不調で、修理しながら何とか運転

麦の穂が葉っぱに囲まれて生まれる



5月の終わりには麦の刈り取りが始まります。現在は麦の穂がぐんぐん伸びているところです。

右の写真は4月の初めに撮影したものです。ツンとした麦の茎から、穂が顔を出したところです。

している状況です。大きな音のする灯油ストーブ、大丈夫だとは思いますが、かなり時間の経過したものです。

夏の暑さ、最高気温35度が普通になつてきたここ数年では、夏の公民館活動は非常に「むづかしい」という状況となっています。

令和3年度については、何とか対応を考えようというのが、新しい執行部の姿勢です。決して安価ではありませんが、これからも、自治会会員が快適に使える公民館となるように、皆様と一緒に考えてまいりましょう。

副自治会長 原田茂樹

令和2年度の活動報告を提出

令和2年度の多面的機能支払い交付金事業の2事業について、山口市に報告を完了しました。

2年度は新型コロナウイルス万円の影響で、多くの交流事業ができませんでした。学校との連携においても田植え見学学習や、子ども会、福祉施設との餅つき大会もできませんでした。

一方、農道の除草清掃作業は例年と同様に行うことができました。真冬の凍り付くような天候の中でも多数の参加者を頂き、作業は予想以上の成果を上げたと考えています。

広報誌作成や過去の広報紙がいつでも見られるようにする取り組みも行いました。15年にも及ぶ私たちの活動がここに記録されているのは、ある意味誇らしいことでもあります。

施設の長寿命化事業では、大森農道擁壁改修を実施、大規模改修を未然に防ぐことができました。今後も、効果的な活動を続けてまいります。